

二五二〇番

赤駒あかこまが 足搔あがき速はやければ 雲居くもゐにも 隠かくり行ゆかむぞ
袖そでまけ我妹わきも

二五一一番

こもりくの 豊泊瀬道とよはつせぢは 常滑とこなめの 恐かしこき道みちそ
恋こふらくはゆめ

二五二二番

うまさけの 三諸みもろの山やまに 立たつ月つきの 見みが欲ほし君きみ
が 馬うまの音おとそする

二五二三番

鳴る神なのかみ しましとよもし さし曇くもり 雨あめも降ふら
ぬか 君きみを留とどめむ

二五二四番

鳴る神なのかみ しましとよもし 降ふらずとも 我わは留とど
まらむ 妹いもし留とどめば